

現役世代の負担軽減に向けて、ご協力ください! 皆さまの賛同が「健康保険を守る」一歩に



皆さまが納めている保険料のうち、
何%が高齢者医療費に使われているでしょう?

- A 約5%**
- B 約25%**
- C 約45%**
- D 約65%**



毎年約1兆円ずつ増加する日本の国民医療費。なかでも全体の約6割を占める高齢者医療費の増加は著しく、この財源の確保が日本の喫緊の課題となっています。

日本の皆保険制度は、これまでも現役世代の保険料で高齢者医療費を支えてきましたが、超高齢社会を迎え、現役世代の負担は限界に達しています。皆さまの保険料の約45%が高齢者医療費として支出されていて、近い将来50%を超えるものと見込まれており、このままでは健保組合、延いては国民皆保険制度の維持すらも危ぶまれる危機的状況です。

高齢者医療費は本来、社会全体で公平に負担すべきものです。健康保険組合連合会では、私たちが今後も安心して医療を受けられる制度を維持していくため、「あしたの健保プロジェクト」を立ち上げ、皆さまの声を集めて発信する活動を展開しています。

正解は「**C(約45%)**」でした。

あしたの健保プロジェクトの主張

国民皆保険制度を維持しよう!

現在の仕組みでは、増え続ける医療費を支えていくことが難しく、制度自体の維持が危ぶまれます。

現行の保険制度による、現役世代の負担を改善しよう!

高齢者医療費は本来社会全体で支えるべきですが、現在は現役世代の負担が過重になっています。

高齢者医療費への公費(税金)負担を増やし、現役世代の負担を軽減しよう!

消費税増税分などの公費で広く社会全体で高齢者医療費を支える仕組みを含めた検討が必要です。

ご賛同くださる方は、「あしたの健保プロジェクト」ホームページから、「賛同する!」ボタンをクリックしてください。



あしたの健保

<http://www.ashiken-p.jp>



健康保険のみらいをみんなで作る!



健康保険組合連合会 www.kenporen.com

健康保険組合は、約3,000万人のサラリーマンとその家族の健康を守っています。健康保険組合連合会(健保連)は、全国1,400余りの健康保険組合の連合組織です。
〒107-8558 東京都港区南青山1丁目24番4号